

Kita no Kawaraban

北の瓦版

URL <http://www.do-shokoren.com/>

北海道商工会連合会 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル
TEL (011)251-0101代/FAX (011)271-4804
編集人:事務局長 石橋 孝/定価:1部50円/奇数月1日発行
会員の年間購読料は会費に含めていただいております。

貯める・安心・借りられる
掛金ひとつで3つの備え

商工貯蓄共済

この先、アカルイ。

お申し込みは

商工会

北海道商工会連合会

地域とコラボする商工会

―商工会では自慢できる地域づくりを実践しています―

釧路管内 厚岸町

商工会が人口減少対策に取組む

厚岸町商工会宮原文憲会長では、町内人口減少の要因となっている、若者の町外流出に歯止めをかけようと、商工会青年部(菅原基記部長が中心となって)地元企業の雇用促進の取組みを行っている。

この取組みは、進路が明確化されていない中学生をターゲットに絞り、初年度の26年度は、中学校1校の2年生56名を対象として「地元企業交流会」を実施した。

この交流会は、一般的な「企業説明会」とは異なり、菓子店はケーキ作りを披露し、美容師は実際に美顔マッサージを実演するなど、生徒の興味を引く内容とした。

交流会は、中学校から大きな反響があり、町教育委員会の要請を受けて地元中学校合同校長会で、事業趣旨の説明を行うなどして、翌27年度は、町内全中学校4校の2年生64名が参加し、企業側は、一次産業の漁業・酪

農業も加わり10業種となった。



そして今年度は、規模をさらに拡大して、町内4中学校の1・2年生184名、

参加企業は14業種、看護師や飲食・サービス業、文具小売店、地元金融機関なども参加して7月21日に開催された。

少子高齢化が進む中、地域の小規模企業においては人材確保が困難になっていくことが予想され、参加企業は「今の子供たちは何に興味を示し、どんな考えを持っているのか」を知るきっかけづくりとなっており、商工会の取組み

は、地域の未来を創造する取組みとして、大いに期待が持たれている。



行政と商工会が一体となって地域の小規模企業を支援

―陸別町・真狩村において小規模企業振興条例制定―

平成26年6月商工会の長年の悲願であった「小規模企業振興基本法」が成立し、道においても、「北海道小規模企業振興条例」が、本年4月1日から施行となった。

道商工連では、小規模企業振興の強化を図るため商工会が支援機関としての役割を十分に発揮できるように市町村においても、小規模企業振興に関する条例の制定を要望している。

このような中、6月14日十勝管内陸別町において「陸別町小規模企業振興基本条例」が道内市町村第1号として制定された。



石橋商工会長と野尻町長



島口商工会長と佐々木村長

これは、全国でも新潟県の聖籠(せいろう)町、愛知県の豊明(とよあけ)市に次いで、全国3番目となる。

陸別町の野尻秀隆町長は、「条例を定めることによって、改めてそれぞれの役割を確認し、町内の9割を占める小規模企業の振興に努めてまいります」と抱負を語った

次いで、6月22日に、真狩村においても「真狩村小規模企業振興基本条例」が道内で2番目に制定された。

佐々木和見村長は、「小規模事業者が元気になることで、地域振興にも繋がっていきたい」と語った。

平成28年 7 月 1 日「中小企業等経営強化法」が施行されました

この法律は、中小企業・小規模事業者・中堅企業（以下「中小企業・小規模事業者等」という。）の経営強化を図るため、事業所管大臣が事業分野ごとに経営力向上のための取組等について示す指針を策定するとともに、当該取組を支援するための措置等を講じるものです。

☆中小企業・小規模事業者等による経営力向上のための取組の支援

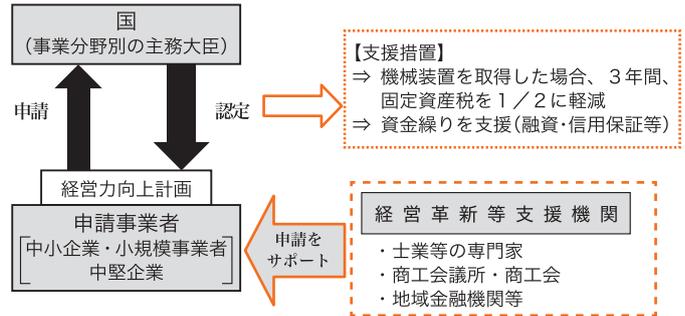
(1) 経営力向上計画の認定及び支援措置

中小企業・小規模事業者等は、人材育成、コスト管理のマネジメントの向上や設備投資等、事業者の経営力を向上させるための取組内容などを記載した事業計画（「経営力向上計画」）を作成し、計画の認定を受けた事業者は、機械及び装置の固定資産税の軽減(資本金 1 億円以下の会社等を対象、3 年間半減)や金融支援等(低利融資、債務保証)の特例措置を受けることができます。

(2) 認定経営革新等支援機関による支援

商工会などの認定経営革新等支援機関による計画策定の支援を受けられます。

「中小企業等経営強化法」制度の概要



☆手続の簡素化

申請書類は実質 2 枚。窓口提出しなくても、郵送による送付も可能です。

〈詳しくはお近くの商工会まで〉

「経営発達支援計画」第3回2次認定結果が公表

小規模事業者支援法に基づき、小規模事業者の持続的発展を支援するため、商工会が作成する「経営発達支援計画」の認定結果が、7月15日に公表された。

今回の公表は、2月4日申請期限とした第3回認定の内、新規の申請分を認定したもので、全国の75商工会と13商工会議所が認定された。

道内商工会の認定数は、今回の6商工会を加えて63件となり、都道府県別の認定件数は前回同様、全国一を維持している。

第4回認定分の申請は本年秋頃に予定されており、詳細は未定となっている。

当会では、全商工会の認定に向けて全面的な支援を継続するとともに、認定済み商工会に対して伴走型補助金の申請支援及び経営発達支援事業の実施手法における経営指導員向け研修会を道内各地で行っているところである。

（今回認定の道内商工会）
北斗市商工会・鹿部同・上ノ国町同・奥尻同・鶴居同・中標津町同

「地域・まちなか商業活性化支援事業」の採択先が決定

この補助制度は、商店街等を基盤として、地域経済の持続的発展を図るため、地域住民等のニーズや商店街を取り巻く外部環境の変化を踏まえ、地方公共団体と密接な連携を図り、商店街組織が単独、又はまちづくり会社等の民間企業や特定非営利活動法人等と連携して行う、公共性の高い取組を支援するものであり、全国で調査分析事業26件、支援事業26件が採択された。

道内の商工会地域の採択先と事業概要は次のとおり。

- 調査分析事業
 - ・東川町商工会：商業活性化次世代ポイント制度導入調査
 - ・下川町商工会：町内お買物ニーズ調査
 - ・猿払村商工会：まちなか商業活性化調査
 - ・滝上町商工会：地域商業自立促進調査
- 支援事業
 - ・沼田町商工会・(株)まちづくり沼田：地域住民のニーズに応じた不足業種店舗、コミュニティ施設等の中核施設整備事業

STOP! 労働災害

第三次産業の労働災害を防止しましょう

～北海道労働局からのお知らせ～

- 第三次産業における労働災害は全産業の 42%を占めています！
- 労働災害を防止するための取組をお願いします。
 - ① 安全衛生管理体制の整備
 - ② 安全衛生教育による 4S 活動、危険予知活動
 - ③ 雇入れ時の安全衛生教育の確実な実施
 - ④ 転倒災害防止対策の推進
- 詳しくは、第三次産業（小売業・社会福祉施設・飲食店）のリーフレットをご覧ください。

リーフレットは北海道労働局のホームページからダウンロード出来ます。

ホーム> 各種法令・制度・手続き> 安全衛生関係> 安全関係> 労働災害防止について> その他労働災害防止

北海道労働局

検索



道商工青連 商品力強化支援 研究会がスタート

道商工青連(仁木義人会長)は、6月24日に若手後継者等育成事業による「第1回商品力強化支援研究会」を札幌市内で開催し、12名の青年部員のほか道商工青連役員、コーディネーターの後藤直樹中小企業診断士を中心とした4名の専門家を加えた計28名が出席した。

この研究会は、平成19年度から実施されており、地域資源の掘りおこし、新商品開発と商品のブラッシュアップを目的とし、ビジネスプラン作成に加え、本州や札幌市で開催される展示商談会への参加を支援する。



第1回研究会では、参加企業が試作した「すもものベイクドチーズケーキ」や「かすべのベー

コン」など地域資源を活用した個性豊かな商品が持ち寄りられ、専門家が売れる商品作りな

どの助言を行った。

今年度は、基本コースとステップアップコースの2コースを設けるとともに、本研修に参加し顕著な成果を上げている青年部OBを講師に招き、経験とノウハウの伝承及び若手経営者の育成を目的に、自社の経験を活かした指導をしてもらうカリキュラムを取り入れている。

研究会は、3月までに5回の開催を計画しており、商品開発と販路開拓による経営力向上と経営者としての資質向上を図り、経営発達支援事業の認定商工会地域を牽引する企業として、一層の成長が期待されている。

道商工女性連

「東北六県・北海道商工会 女性部交流研修会」を開催

「平成28年度東北六県・北海道商工会女性部交流研修会及び第16回東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会」が、7月13日・14日の両日、山形市内のホテルで開催され、道内からの31名を含め375名の女性部員が参加した。

研修会の冒頭、全女性連表彰が行われ、平成27年度の「部員増強運動年間実績都道府県女性



部連合会の部」で北海道が一位に輝き、道商工女性連の石本留美子会長に表彰状が授与され、会場から大きな拍手が送られた。また、遠別商工会女性部が「女性の創業等支援助成金事業」表彰を受賞し、穀蔵千恵子部長に目録が贈呈された。

一方、主張発表ブロック大会では、各県と北海道の代表者7名が部活動内容などの発表を行い、北海道代表の鶴居村商工会女性部の服部佐知子部長が優秀賞を受賞した。

研修終了後の交流会では、山形大学のメンバーによる「花笠音頭」が披露され、和やかな雰囲気の中で交流を深めた。

来年度の研修会は、秋田県で開催される。

経営者の退職金制度を知っていますか？

「小規模企業共済」ってのは経営者が事業をやめたり、役員を退いたときなどに備える

退職金制度
なんだった!

将来もらえる共済金は一括で受け取ると
退職所得扱い
になって税制上のWメリット!

掛金は**節税**にもなるのよ!

●本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは
お近くの商工会 又は 北海道商工会連合会 へ
【制度内容は次のホームページをご覧ください。〈<http://www.smrj.go.jp/>〉】

…………… 本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。……………

いつでもどこでもなんでも

「呑み喰い処」山海幸

かすべのベーコンで 集客力増加

留萌管内 苦前町



苦前町古丹別で軽飲食店を営んでいた原野俊次さん（60歳）は、「地元で獲れる新鮮な魚介類を多くの方に食べてもらいたい」との思いから、居酒屋への業態転換を思い立ち、平成6年に現在の店舗を構えた。

新鮮な食材を活かした海鮮丼や特松寿司など、メニューには定評があり、メディアにも度々取り上げられている。4年前には、道外で就労していた長男の友助さん（35歳）が帰郷し、後継者として厨房で腕を磨いており、堅調な経営を続けているが、人口減少や高齢化の進展で顧客が減少していることから、競合店との差別化が重要だと考え、オリジナルメニュー「かすべのベーコン」を考案した。かすべは、漁獲量も多く、故郷の味として、煮つけで食されることが多いが、燻製にする

ことで旨みを凝縮させた。これを主力メニューとして育てていくための支援を商工会に求め、専門家派遣や小規模事業者持続化補助金、商品力強化支援研究会などを活用し開発に取組んできた。



「かすべのベーコン」はレシピを青年部にも提供している。友助さんは「経営計画の作成には苦労したが、現状認識と課題抽出のために大変重要だということが理解できた。また、事業を見つめ直す良い機会となった。今後の計画実施には商工会の継続支援が欠かせない、頼りにしています」と語ってくれた。

支援担当 経営指導員 西方秀和
お二人は、真摯に経営に取組んでおり、料理に対する情熱にも感服させられます。特に、海鮮丼は、皆様に食べていただきたい逸品です。かすべのベーコンは町の特産品として地域の活性化にもつながるように支援して参ります。

ニセコチーズ工房(有)

市場の変化に即応した アイテム開発で需要拡大

後志管内 ニセコ町



当社は、近藤孝志社長が脱サラをして、フランスで修業後、平成18年にニセコ町でナチュールチーズを主体に製造を始め、今年で10年目を迎える。工房には、製造ラインは勿論販売コーナーやカフェコーナーもあり、観光客にも人気がある。

5年前から手伝っている長男が意欲的に商品開発に取組んでおり、チーズを使ったスイーツなど、他では味わえないアイテムも多い。また、チーズコンテスト入賞や、JAL国際線ファーストクラスの採用実績からも商品力、技術力には定評がある。

ここ数年、インバウンドを中心にスキー客で賑わいをみせているニセコだが、近年は、夏のドライブ客も増加傾向にある。市場環境の変化に敏感な近藤社長は、これらの需要を取り込むため、昨年、商工会の支援を受け、小規模事業者持続化補助金を活用して新アイテムの開発

に取組んだ。ドライブ中でも手軽に食べられるパッケージと適量感に拘った新アイテムは、新たな需要の掘り起こしに繋がっている。



今年も昨年に引き続き、持続化補助金の採択を受け、全国に50社程ある取引先との販売力強化に取組む計画である。

近藤社長は「今後は、チーズの販売だけではなく、チーズを使った料理や、チーズに合うワイン等をお客様に提案し、ナチュールチーズ全体の需要を拡大していきたい。」と抱負を語ってくれた。

支援担当 経営指導員 市橋貴之
差別化を図った商品開発や、環境の変化に対応して販路開拓に取組む近藤社長の事業展開は、新規創業者も多いニセコ町において模範となっています。今後も新たな需要を掘り起こす積極的な挑戦を支援していきたいと思えます。

食事処 和楽来(わらく)

地域食材を活用した 飲食店を創業

胆振管内 壮瞥町

当店は、伊達市大滝区の国道453号線沿い市役所総合支所の向いに位置する和食中心の飲食店。

店主の藤田正幸さん（62歳）は、料理人として長く修行し、大型ホテルの和食料理長も務めた。



当初大滝区北湯沢で温泉旅館を経営し、料理のおいしい宿として評判であったが、店舗の老朽化などもあって、平成25年8月に新たに飲食店として創業した。

あたって商工会では、SWOT分析や売上の要素分解などで目標設定を支援し、地域特産品を活用した話題性のあるメニューづくりと効率的な広告宣伝を図ることとした。メニューには全国展開支援事業を通じて発掘開発した奥洞爺牛などの食材を活用し、また、

同事業参加メンバーとともに共通のぼりやホームページを制作し、地域振興事業として新聞や雑誌などの紹介により無料の広告宣伝とするなど工夫を凝らした。



旅館時代から長年奥さんといふたりで切り盛りしてきたが、今年から息子さんが加わって家族3人となり、経営にも

力が入っている。藤田さんは、「今後は地域特産品を扱った新たな看板メニューの開発やPR等を積極的に継続して地域の魅力を発信していきたい」と抱負を語ってくれた。

支援担当 経営指導員 櫻田琢磨

自然豊かな伊達市大滝区の小さな飲食店ですが、長年の経験から出てくる料理は、味も見た目も逸品です。

北湯沢温泉や洞爺湖など胆振方面にドライブされる際は、当地へお寄りいただき、奥洞爺牛等の特産品を使った料理を堪能して下さい。

保科金物店

金物店4代目の新事業展開

十勝管内 上士幌町

保科龍さん(35歳)は、父広典氏の体調不良により、創業から80年続く(有)保科金物店を引き継ぐことを決心。



経営知識がなかった保科さんは、商工会へ相談し、税理士とともに、経営分析を行い、経営状況を判断し法人から個人事業所に変更、平成26年1月に4代目として事業を承継した。

「当時は、商工会だけが頼りでした」と振り返る。保科代表は「地域のために些細なことでも貢献したい」との思いから、青年部活動にも積極的に参加。またお店も地域の役に立ちたいとの思いから、町内のお客様が当店に何を期待しているのか、商工会と一緒にニーズ調査を実施した。

その中で「凹凸の特殊な合鍵を作るのに帯広までいかなければいけない」と町民が合鍵で悩んでいることが分かり「合鍵作成」の新事業を決意した。

事業を進めるにあたり、商工会の支援を受け、小規模事業者持続化補助金を活用した。



広告宣伝効果と特殊な合鍵作成も可能になったことから、町内外からの需要が増え、売上げも大きく伸びることが出来た。

保科代表は「経営上の問題について相談できる場所(商工会)があつて助かっている。私の店は、地域があつて成り立っている。地域の役に立ち、地域に頼りにされるお店を目指したい」と話してくれた。

支援担当 経営指導員 高澤寿一

保科さんは、青年部活動をはじめ様々な事業に積極的に参加しています。地域に対する思いが熱く、それはお店の経営にも活かされております。

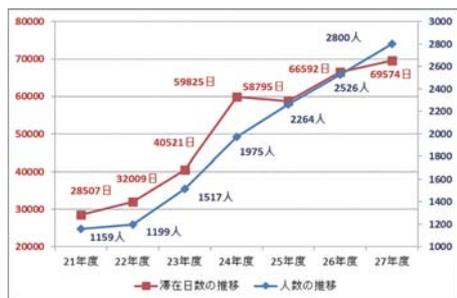
地域を担うリーダーとして期待しております。今後とも商工会で支援できることは、積極的にお手伝いしていきます。

地方に人を!! 移住事業について

人口減少対策として、道内の数多くの市町村は移住を重点事業の一つとして取組んでいる。

平成27年度の北海道体験移住「ちょっと暮らし」の実績を見ると利用者数は昨年度を274人(10.8%増)上回る過去最高の2,800人となった。また、滞在日数も2,982日(4.5%増)増加し、過去最高の69,574日となった。

利用者の居住地内訳は首都圏在住が46%、近畿圏在住が25%、中京圏在住が10%と三大都市圏在住の方で81%を占めた。アンケートから利用者の85%が「大満足」「満足」と回答しており、移住に繋がって行く事が期待さ



ちょっと暮らしとは、道内の市町村等が運営主体となり、移住希望者等に住宅等を提供し、その地域での生活体験をしていただくもの



本気の移住相談会の様子

れている。NPO法人住んでみたい北海道推進会議(井上久志理事長)は、都市圏での移住促進を図るプロモーションとして「北海道暮らしフェア」を10月9日(日)大阪、10日(月)・祝名古屋、11月12日(土)東京にて開催する。本年は、出展数も昨年を上回り過去最高となる見込みだ。また、移住への本気度が高い人を対象とした「本気の移住相談会」を6月25日に東京で開催した。来場者からは「じっくりと相談することが出来て良かった」と好評であった。来場者の63%が40歳代以下と若い世代の方であり、出展者は若い人に北海道の良さを知ってもらい、我がまちに移住していただこうと熱心に対応していた。

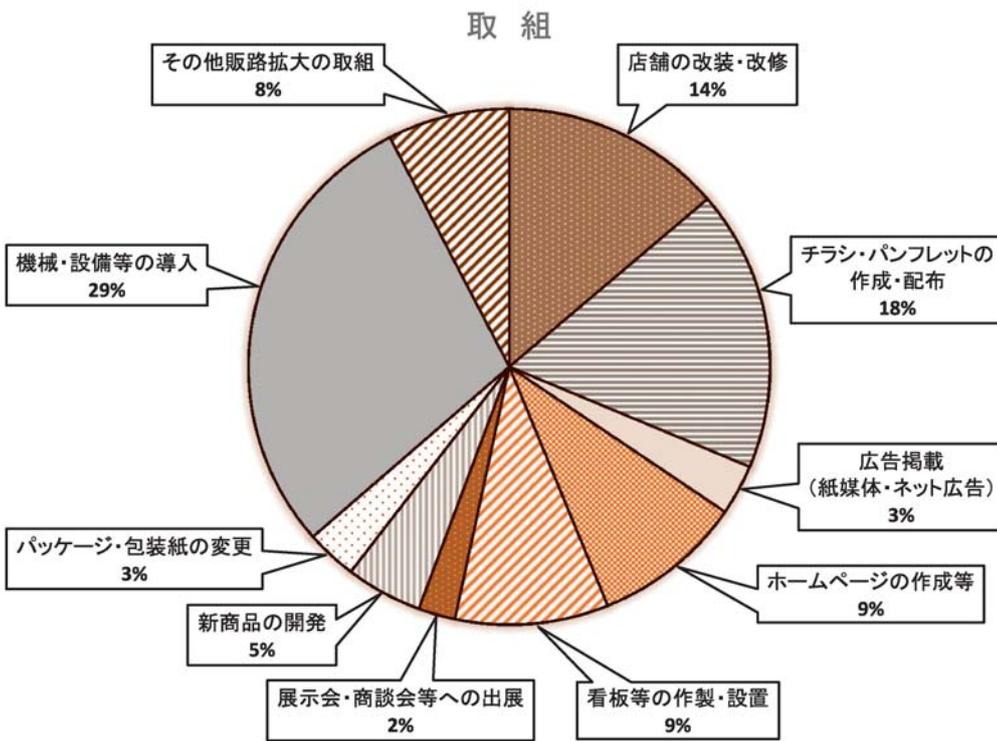
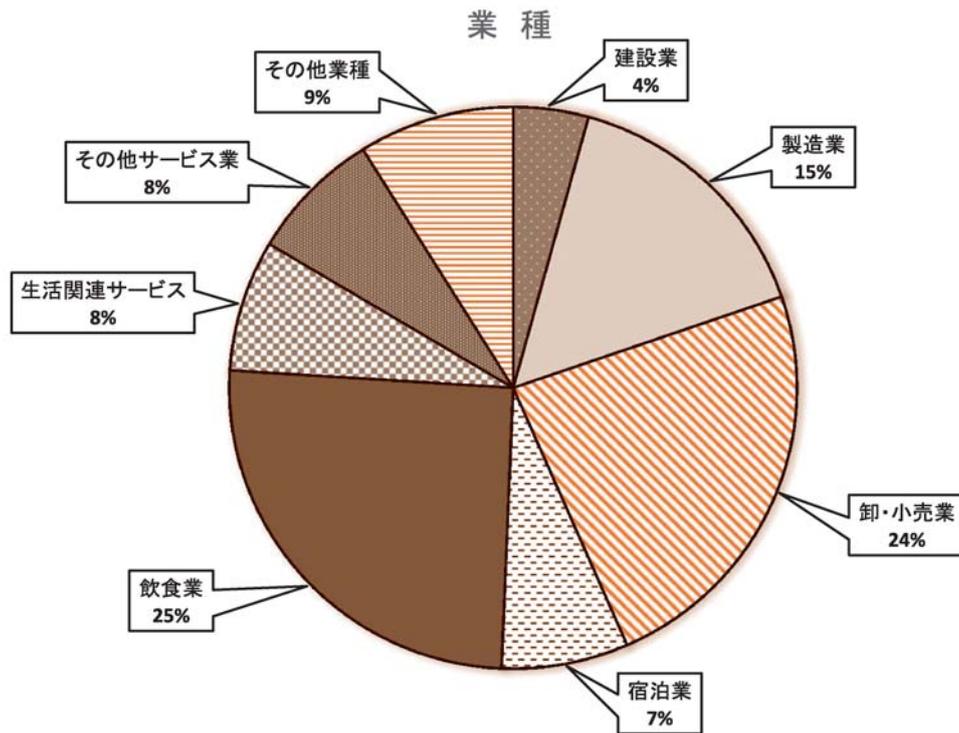
平成27年度補正予算小規模事業者持続化補助金採択決定

平成27年度補正予算小規模事業者持続化補助金の採択事業者が、7月15日に発表された。商工会分は全国で18,453件の応募があり、そのうち304件が採択された。採択率は58.2%となり、全国的に45.6%を上回った。本補助金は、持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓（創意工夫による売り方やデザインの変更等）の取組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものである。

北海道では522件の応募があり、そのうち304件が採択された。採択率は58.2%となり、全国的に45.6%を上回った。本補助金は、持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓（創意工夫による売り方やデザインの変更等）の取組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものである。

平成26年度から始まり今年度は左図のとおり。

で3年目となり、多くの小規模事業者が申請し、活用してきたが、前年度の166億円の予算措置が、今年度は70億円に減額となったため、採択率も前年度と比較すると厳しいものとなった。なお、今回の採択状況の詳細



「米トレーサビリティ法」をご存知ですか？

この法律は、米穀や米加工品に問題が発生した際に、速やかに流通ルート特定するため、生産から販売・提供までの各段階での米穀や米飯・米加工食品等を取り扱う事業者間の取引記録の作成・保存が義務付けられています。また、外食店、仕出・弁当、宅配、出前等で米飯類を提供する事業者は、店舗において、「○○○産米使用」と使用する旨の産地伝達を記載した貼り紙、メニュー等で消費者に伝達することが義務付けられています。宅配・出前等の場合は、伝票類やチラシ、はし袋等で産地を伝達する方法もあります。私たちが法律を遵守することで、「安心・安全」なお米を未来へ繋げていきましょう。詳細は、農林水産省HPをご覧ください。北海道農政事務所消費・安全部流通監視課にお問い合わせください。(☎011-330-8815)



米穀（玄米、精米、くず米等）を出荷・販売される生産者の方は、この法律の対象になります。

- ①業者間の取引等の記録を作成・保存
【例：伝票に、品名、産地、数量、取引年月日、取引先名を記載】*原則3年間保存
 - ②米穀の産地情報を伝達
【例：伝票類に産地（北海道産、○○町産など）を記載して、事業者の方に伝達】
- 注：住所は産地とならないので御注意ください！

農林水産省のHPでは、米トレーサビリティ法について詳しい情報を掲載しています。

検索

米トレサ

ヒューマンプラス



新冠町商工会長
橋本 正美 さん

特産品は「ピーマン」で出荷量は全道一であり、ピーマン羊羹やピーマン煎餅、変わったものでは、珍菓ばふんまんじゅうなどもある。

観光では、日本で唯一のレコード博物館「レ・コード館」や廃校舎を利用した世界最大の油彩画がある「太陽の森デイマシオ美術館」がある。

新冠町商工会は、会員数160名、組織率61%で、役員19名、職員5名を配置している。

商工会では、会員の課題解決に向けた巡回はもちろん窓口相談も増えている。

会員アンケートでも相談先は商工会が一番となっており、会長は「会員の期待に応えるためには職員のレベルアップが不可欠であり、研修は外部のものも含め100%出席させている」と言う。

また、町のイベント等では、青年部といえば商工会青年部になっており、町民に頼りにされる存在となっている。

女性部においても、女性部員が積極的に加入推進を行い、部員数も増加傾向にある。会長は「知恵を出し合い、課



現在ではミニスーパーとセイコーマート新冠店、さらには事務機販売の店も営んでいる。
(株)橋本商店は、資本金1,000万円、従業員は家族4人とパートが25名。

● 企業紹介
(株)橋本商店は、会長が生まれ年に先代の社長が、煎餅を焼いて袋に入れて売ったのが始まりで、酒類販売の免許を取ってから飲食店に積極的に営業し、売上増と共に今日の基礎を築いた。

全国商工会 経営者休業補償制度

商工会の会員及びその従業員が、
病気やケガで働けなくなった場合、
月々の所得を補償する制度です。

有利な加入条件!

- ・団体加入により保険料が**47.5%**も割安です。※平成28年度
- ・医師の診断も不要で、加入手続きが簡単です。

24時間どこでも安心!

- ・就業中、業務外問わず
病気やケガによる休業を補償します。

(引受保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜 株式会社
(募集代理店) 損保ジャパン日本興亜保険サービス 株式会社
札幌市中央区大通西6-10 大通公園ビル5F (☎ 011-207-1820)

お問い合わせは、
お近くの**商工会**または**募集代理店**へ

従業員退職金のご案内!

北海道中小企業従業員退職金共済(特退共)

働く人のパワーアップに最適!

商工会地域の
中小企業で働く人のための退職金制度です。

新規事業所は加入後1年間、掛金の助成があります!
月額掛金は1,000円から30,000円まで!
掛金はいつでも月額1,000円単位で増額できます!
加入から退職までの手続は商工会で、事務手続きの煩雑がありません!

申込み・お問い合わせは **お近くの商工会**へ



島内 観光拠点・食イベントを 活用した地域振興

北海道新幹線開業直前の平成

28年3月18日、鹿部町の観光拠点として「道の駅しかべ間歌泉公園」がオープンし、開業から5か月経過して20万人を超える来場者があり、賑わっている。同駅には、国内でも珍しい間

歌泉を中心に、温泉を利用した「足湯」や「蒸し釜」、特産品を集めた「鹿部・食とうまいもの館」、地域食材を活用した料理体験コーナーなどがある。



最近では、東南アジアなど海外からの旅行者が増え、体験型の観光プログラム「浜のかあさ」が人気を集めている。

鹿部町の基幹産業は、漁業であることから、

水産加工業も盛んで、たらこをはじめ多くの水産加工品が製造されており、これらを活用した新商品開発やイベントも実施されている。

商工会青年部(川村年矢部長)では、平成25年に新ご当地グルメ「鹿部たらこラーメン」、翌年には「鹿部たらこ天丼」を開発するなど若い世代が中心となり商品開発を進めている。

イベント関係は、昨年、町内飲食店が「鹿部たらこ食べ歩き」を実施し、ご当地グルメの取扱店の拡大を図ったのをはじめ、今年度も「第35回しかべ海と温泉のまつり(8月)」、「第6回商工会まつり(10月)」、「第6回鹿部たらこ祭り(2月)」が実施される。

鹿部商工会(吉康郎会長)では、道内外の観光客に鹿部の特産品や地域資源を活かした観光の魅力をPRし地域の商工業活性化につなげるため環境づくりが必要であると考え、交流人口を拡大させるにぎわいづくりを進めており、吉会長は、「食を通じた来訪者との交流イベントで消費拡大を図り、町や近隣地域と連携して地域振興を進めていきたい。」と語った。



「日本で最も 美しい村」加盟 で魅力創出

江部乙商工会(渋谷洋会長)

が事務局を務める「日本で最も美しい村」江部乙協議会(船奥保会長)が、昨年10月NPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟した。

同連合は、いわゆる「平成の大合併」が進められた平成17年、市町村合併の推進で小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村の存続が難しくなる中、美瑛町など全国の7つの町と村が集まり設立した。

フランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスの最も美しい村」運動を範とし、失ったら二度と取り戻せない日本の

農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村として自立していくことを目指しており、現在51町村9地域が加盟している。 滝川市江



部乙地域は、同連合への加盟に必要な2つの地域資源として、丘陵地に広がる「日本



一の菜の花畑」と「防風林に囲まれたリンゴ畑」が高い評価を受け

て加盟が決定した。 地域資源を活かした活動として、5月には、菜の花畑が一面に広がる江部乙丸加高原の丘陵地を舞台に、マラソンとピクニックを楽しむ「えべおつ丘陵地マラニック」や「たきかわ菜の花まつり」が開催され、5月14日から24日までの「菜の花ウィーク」期間中17万人の観光客が訪れ賑わった。

また、6月には、6世帯が自宅庭園を無料開放する「江部乙オープンガーデン」を開催するなど、「日本で最も美しい村」

加盟を契機に、江部乙地域で活動している江部乙丘陵地のファンクラブ、江部乙まちづくり行動隊などの団体が様々なイベントを企画しており、地域の新たな魅力創出につながるものと期待される。



美瑛町へ移住、 そして開業へ

近年、移住に対する社会的関

心が高まる中で、道内への移住者が起業する事例が増えつつある。 上川管内では、特に富良野地域で、移住から起業へつながる傾向が顕著である。

移住者が移住先を探す際には、各自自治体窓口へ相談することが多く、その相談内容が起業に関するものであれば商工会へとつながっていくことが多い。 美瑛町商工会(西森和弘会長)では年間5件ほどの移住による創業相談を受けている。

美瑛町で家具製造業を営む樹凜工房の代表杉達浩昭さんは20年前、大阪の設計事務所を退職後、全国を旅している中で美瑛町に出会った。

その後、縁があり美瑛町に移住。そして現在の事業所を開業するにあたり、記帳や資金繰りなど商工会の支援を受け、昨年は小規模事業者持続化補助金を申請。経営指導員と一緒に経営計画を立てると共に、同補助金を活用して商品開発と販路拡大

管内

に向けたパンフレット等を作成した。
現在、道産の山桜材を使用したインテリア製品を作成、販売を行っている。



地域活性化に
向けて大きな
前進!

日高管内商工会連合会(橋本正美会長)は、7月5日、浦河商工会議所において、同商工会議所との連携に向けた意見交換会を開催した。

道商工会連合会と道商工会議所連合会は、昨年1月に包括連携協定を締結し、全道各地で様々な連携が進められていることから、日高管内7町の6商工会と1会議所による連携について意見が交わされた。

会議には、日高振興局の地域産業担当部長、管内商工連から橋本会長(新冠町商工会長)と幌村司副会長(新ひだか町商工会長)、浦河商工会議所からは上田正則会頭等が出席し、両組織の今年度の事業計画を報告した後、地域の状況などについて情報交換した。

日高管内には、トマトの出荷量が全道一を誇る平取町、門別競馬場のある日高町、60万枚のレコードを所蔵している「レ・コード館」がある新冠町、桜の名所「二十間道路桜並木」がある新ひだか町、5冠馬シンザン

のふるさと浦河町、ユネスコ世界ジオパークに認定されたアポイ岳のある様似町、テレビCMでお馴染みのハート型の湖「豊似湖(とよにこ)」で有名なえりも町と、多くの観光資源を有する。

平成27年度の管内の観光客入込数は170万人で対前年比微増となっているものの、管内人口は、昭和45年の11万2千人から、平成28年3月には7万人にまで減少し、他の自治体同様、人口減少や高齢化によって地域経済が疲弊している。

今回の意見交換会は、連携に向けたスタートラインに立ったばかりだが、豊富な資源を有効活用しながら、商工会と商工会議所が手を携えることで、管内の活性化に期待が寄せられる。



ホタテ貝殻を
活用した
特産品の開発

標津町には、都市住民などとの人・物の交流の活性化による交流人口の拡大と地域活性化を図ることを目的として町内の主要団体で構成された「標津町地域協議会」がある。

標津町商工会(篠田静男会長)は、構成団体として今年度、ホタテ貝殻を商品パッケージとして活用した観光客向けへのお土産品開発の取組みを始めた。

標津町といえば「あきあじ(秋にとれる脂ののった鮭)」に代表される『鮭の町』として有名だが、もう一つの特産品としてホタテが挙げられる。

そのため、町内の飲食店には、鮭やホタテを使った料理が数多く並んでいるが、その分、ホタテ貝殻も大量に発生することになる。従来は、アスファルト舗装材等として再利用されるか廃棄されるだけであったそのホタテ貝殻を、町の新たな特産品として有効活用できないかとの思いから取組みが始まった。取組みの中心に据えられるのはホタテ貝殻に価値を見出すこ

とであり、その具体的な方法として、ホタテ貝殻を器に見立て、標津町が誇る海の幸や山の幸などの特産品を詰め合わせた観光客向けのお土産品の開発が進められている。

今年度は、詰め合わせる特産品の選定や小分けパックの開発、実際にホタテ貝殻を商品パッケージにしたお土産品のモニターング調査等を行い、その結果を基に次年度からの本格的な販売を目指している。

今後、お土産品の開発及び詰め合わせる商品の売上げ増による町内事業所の活性化や新たな雇用の確保など、標津町の一体的なPRによる交流人口の増加へつながることが期待される。





地域のChance 商工会でChallenge

寿都商工会
近江谷 悠杜 さん
記帳専任職員

きっかけ

地域活性化プロジェクトを行う商工会に興味をもちました。地域の発信ができること、イベントなどを通して様々な人と関わることのできる仕事と思い、商工会を選びました。

どんな仕事

記帳などの仕事もあれば、イベントなどで会員の方や地域の皆さんと一緒に汗を流すなど、幅広い仕事をしています。また、たくさんの事を知ることができとても楽しく、充実しています。

これから

商工会は、地域の皆さんととても近い距離で深くつながり一緒に考え、一緒になって取り組むことができるとてもやりがいのあるところだと思います。寿都町出身ではない私ですが、働いていく中で一つでも多くのことを吸収して、役員の皆さん、先輩に教えていただき、地域の方々のお役にたてるように、また「海と風のまち寿都町」をたくさんの人に知ってもらい、来てもらえるような仕事をしていきたいです。

毎年、10月と12月に全道の採用候補者統一試験を行い、明るく元気で優秀な人財を152商工会で採用しています！



28年4月に採用となった 職員の中から代表して、お二人にインタビューしました。

きっかけ

道外の大学で学んでいる中、北海道の大自然や人のあたたかさに改めて気付きました。地域の魅力を生かす仕事をと就職活動中に合同説明会へ参加、職場の雰囲気も教えてもらい仕事に興味をもち、商工会で働いてみたいと思いました。

どんな仕事

今は、労働保険や共済等の補佐的業務のほか、女性部を担当しています。秋には富良野ブロックの女性部員交流会が当町であり、部員の皆さんとおもてなしの準備に奮闘しているところです。

これから

商工会の仕事は、思っていた以上に幅広く、覚えることが沢山あります。会員さんに対して様々な支援を行っていて、支援の一つである税務をもっと勉強して相談された時に応えられるようになりたいです。たくさんの人と接する機会があり、仕事を通じて人との繋がりを広げることができる職場と感じています。人との交流が好きな私は楽しく毎日がんばっています。

上富良野町商工会
竹本 千紗 さん
記帳指導職員



360° の出会い
ステージ
地域から感動

人・企業・地域の未来を創る — 商工会職員募集 —

- ◆一次試験 10月5日
札幌市・函館市・旭川市・北見市・帯広市・釧路市
- ◆二次試験 10月21日 札幌市
- ◆申込締切 9月26日
- ◆採用候補者統一試験の詳しい資料・受験申込書等の必要書類はホームページからダウンロードできます。

北海道 商工会職員募集 検索

親族内承継 社内役員 従業員承継 M&A承継など経営のバトンタッチのことなら 北海道事業引継ぎ支援センター にご相談を！

相談無料・秘密厳守！

そろそろ引退したいが
後継者がいない

息子が後を継ぐと言ってくれているが、どうも頼りない。社員はついていけるだろうか？

長年苦勞を共にしてきた社内の役員に継ごうと考えているが、株式を買い取る資金力はない。

M&Aについて知りたい。どんな手順を踏むのか？
ウチのような小さな企業でも可能なのだろうか？



経済産業省北海道経済産業局委託事業
北海道事業引継ぎ支援センター
札幌商工会議所

ご相談・お問い合わせは下記まで
札幌市中央区北1条西2丁目
北海道経済センター7階
TEL.011-222-3111 FAX.011-222-3811

地域課題など要望

宗谷・十勝の2商工連が 関係行政機関等へ要望

宗谷商工連(中村忠勝会長)

は、稚内商工会議所(中田伸也
会頭)と共に7月26日、札幌市
内で、6月に宗谷経済懇談会で
決議された「国土強靱化の着実
な推進」や「道路整備の計画的
な推進、地域の実情に応じた道
路維持管理の実施及び道路予算
の確保」など社会資本整備のほ
か「JR宗谷本線(名寄〜稚内
間)の高速化事業の早期実現と
路線維持について」、「日ロフェ
リー定期航路(稚内〜コルサコ
フ航路)の早期再開の推進につ
いて」など36項目について道開
発局、道経産局、道などに要望



した。
また、翌日には東京で国交省、
資源エネルギー庁などに同様の
要望を行った。



◆ 十勝商工連(竹田悦郎会長)
は、帯広商工会議所(高橋勝坦
会頭)と共に8月8日、札幌市
内で7月にとち商工業振興
会議で決議された「十勝の食と
観光振興に対する支援の強化」、
「地域の交通政策に対する取り
組みの促進」、「北海道横断自動
車道、帯広・広尾自動車道及び
地域高規格道路の整備促進と利
便性の向上」、「航空宇宙関連施
設の誘致及び航空宇宙産業の育
成」、「景気対策の強化」、「小規
模企業の持続的発展に向けた支
援施策の拡充」の重点項目の他



「国際貿易交渉への適切な対応」
など10の要望の計16項目につい
て、道開発局、道経産局、道議
会、道などに要望した。

また、翌日には東京で、内閣
府宇宙戦略室、国交省、経産省
などに同様の要望を行った。

小規模企業共済 加入促進で表彰

独立行政法人中小企業基盤整
備機構(中小機構)が運営する
小規模企業共済制度で平成27年
度の加入実績が顕著だった商工
会が表彰された。

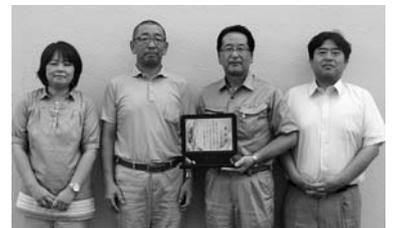
そのうち、あさひかわ商工会
が平成26年度に続き、全道1位
となり、しかも平成27年度は全
国1位に輝いた。



あさひ
かわ商工
会には、
中小機構
の若松共
済部長が
7月7日
に訪れ、
中村彰利商工会長に感謝状を贈
呈した。

一方、小規模商工会でありな
がら、全道2位となった中川町

商工会にも
7月6日中
小機構の若
松共済部長
が訪れ、片
山峯輝商工
会長に感謝
状が手渡さ
れた。



人事異動

商工会人事(8月1日)

▽江差商工会経営指導員(共和
町同) 竹田直人▽共和町同(同
補助員) 高見正人

【退職】(7月31日)

▽鷹栖町商工会事務局長橋本弘

観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に心をこめたおもてなし。

- 【ご宿泊】
- 【ご婚礼】
- 【ご宴会】
- 【ご会合】



G.P. ホテル札幌カーテンパレス

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL/011-261-5311
URL <http://www.hotelgp-sapporo.com/>

レストラン
スピカ
中国料理
四川飯店
札幌和食 総料理長 結文庵 ちきくに

備えは万全ですか？ 総合火災共済に加入して安心な毎日を！

火災、落雷、破裂・爆発、風災、ひょう災、雪災、
物体の落下・飛来・衝突、水ぬれ、騒じょう、盗難、水災

みなさまのニーズに合わせて大切な財産をしっかりと守りいたします

お申込み・お問い合わせ

各取扱商工会又は当組合まで

北海道火災共済協同組合

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7
Tel.011-231-1322 (受付時間 平日 9:00~17:00)

<http://www.lilac.co.jp/kasaikyosai/>

挑戦する企業

旅館「野付湯元うたせ屋」(別海町)



根室管内の中央部別海町尾岱沼で旅館「野付湯元うたせ屋」(19室)を営む戸田邑江(くにえ)社長は、長年に亘って観光振興に精励した実績が認められ、平成28年の観光関係功労者として、国土交通大臣表彰を受賞した。表彰を受けたのは道内3人を含む全国で25人。

○創業は？

元々は漁師だったが、ご主人のお母さんが昭和28年に始めた。戸田社長は東京生まれ、昭和43年に結婚し移り住んだ。「来た当時は水道も無く、本当に何も無いところで、すぐに帰りがかった」と当時を語る。

「でも住んでいると自然が素晴らしい、食べるものや空気も知ってもらいたく昭和61年に旅館を承継し、女将となった。

○旅館のこだわりは？

「尾岱沼の観光の宝は、遊覧船と野付半島です。来たお客様に美味しい地元のを食べていただくとうと昼食を始めました

『食観光日本一』を謳っており、ここでしか食べられない食材にこだわっています」と言う。旅館は8年前にリニューアルし、戸田旅館から「野付湯元うたせ屋」に変えた。

○今後の事業展開は？

旅館は、サラリーマンをやっているご子息に引き継がせたいと話す。

戸田社長は、町の観光協会長も務めており「体験観光や冬の観光をどうにかしたい」という思いからシマエビ漁の体験コースや水平線ウォーク、トリック写真などを盛り込んだ「べっせかい別海町のプレミアム体験事業」に力を入れ、「ここまできたら別世界」を広く発信した。

「商工会にはいつも支えられている。別海町も移住が動き始めました。子育て支援等を充実し、若い人に住んでほしい。私は移住第1号、今後も海のもの山のものに付加価値を付けて町

の魅力を発信していきたい」と語ってくれた。

【企業概要】

企業名	野付戸田観光(有)
創業	昭和28年
資本金	500万円
従業員	12名



編集後記

いよいよ9月、まだ残暑が厳しいが、9月は〇〇の秋という言葉が出てくる。

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・などなど色々な秋がある。

商工会地域では味覚を堪能する様々な食のイベントが開催され、さながら食欲の秋だろうか。

9月と言えば秋の味覚秋刀魚を思いですが、不漁で高値なよううていささか寂しい。

人材育成は中小企業大学校旭川校にお任せください！中小企業の「ひとづくり」に貢献します。

北海道の中小企業及び地域の課題・ニーズに合わせた「自社課題解決型」講座が目白押し！

2016年度おすすめ講座のご案内

No.507組織のチカラを高めるビジネスコミュニケーション(女性限定・砂川開催)



期間 2016年10月19日(水)

受講料 16,000円(税込)

対象者 経営者、経営幹部、管理者(候補者)

No.16クレーム対応の基本と組織的対応力強化

2016年10月20日(木)~21日(金) (4日間)
期間 11月24日(木)~25日(金)

受講料 38,000円(税込) 対象者 経営幹部、管理者(候補者)

◎ちよこっとゼミナール(ちよこゼミ)を開講しています◎

パソコンやスマートフォンで学べる手作り経営講座です。●無料 ●Youtube ●登録不要 ●10分間 いつでも・気軽に・何度でも！

アドレスはこちら→ <http://www.smrj.go.jp/jinzai/chokozemi/index.html> または **ちよこゼミ** で検索！

講座の詳細は で検索！お申込みも web から！

お気軽にお問い合わせください
電話 0166-65-1200
旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校旭川校

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部